

### 農場長より

2学期以降は耐震改修の工事により、農場施設を仮設教室にするなど慌ただしく一年が終わろうとしています。そこに加え、この冬は例年のない寒波とあって、雪が窓ガラスを覆ってしまうような状態となっています。

今年度の農場の生産状況は、工事等による不便さはありましたが、各部門とも計画に沿って生産を進めることができました。震災による風評被害の影響が畜産部門に見られ、大きな減収となりました。学校林を活用したシイタケ栽培や炭焼き実習においては、地域の線量調査による制限があり、南会津地区から用材を導入して実施しました。



(炭だしの作業)

### 作物部門

今年も水稻生産においては、カメムシと暑さによる高温障害が見られました。カメムシ対策は適期防除が鍵を握ると言われ品種により防除時期が異なります。そばの収穫状況は播種後の降水が少なく、草丈が低いまま刈り取りとなっており、大きく減収となりました。

キャリア教育における小中学校との連携事業が実施され、農業体験としてダイズの植え付け・田植えや稲刈り、学校紹介プレゼンテーション等、相互の訪問事業が実施されました。



(中学校との交流)

### 畜産部門

本年度の総括をします。まず、生産部門ですが、肉牛はA4等級2頭、A3等級が3頭、という結果でした。売り上げも最高値が約67万円で最安値は約29万円でした。平均は約53万円の結果となりました。昨年の平均38万円より平均価格は15万円値上がりしました。

次に子牛の生産ですが、今年度の出荷はなく、人工授精で今年の7月に子牛が生まれる予定です。導入牛については雌を5頭導入し、26年7月に出荷予定をしています。

最後にプロジェクト研究ですが、3年生は、「和牛の経営の研究」について、2年生は、「肉質改善の研究」についてそれぞれ研究を行いました。1月に行われた校内発表では、研究半ばでもあるため入賞を逃しましたが、良い経験が出来たと思います。引き続き研究を進めていきたいと思っています。



(平成25年1月21日生まれ・雌)

### 野菜部門

今年度の野菜部門は、天候にとっても恵まれて夏野菜は元気よく生育してくれました。秋冬野菜は定植をしたときにまったく雨が降らず、困ってしまったこともありましたが、その後はハウス内の葉菜類もふくめて順調に生育し、生徒の実習も充実した内容になりました。販売実習の際には、みなさんに沢山野菜を買って頂き、ありがとうございました。また、来年度も「安全で美味しい野菜」をお届けできるよう実習に励んでいきたいと思っています。

今年もハウス内に電熱線を設置し、2月下旬から来年度の野菜のたねまきを始めました。春には野菜苗の販売を行いますので、購入をご希望される方は、生徒を通して注文頂くか学校までご連絡下さい。なお、ゴールデンウィーク過ぎに販売できるよう生徒と一緒に準備を進めていきたいと思っています。



(野菜栽培管理様子)

### 草花部門

本校の草花部門は、花壇用の草花類(パンジー・マリーゴールド・サルビア・ペチュニア・ベゴニアセンパフローレンス)と鉢もの類(インパチェンス・カンナ・シクラメン・シネリアなど)の栽培を中心に取り組んできました。そして、生徒達が販売実習を通して自分たちの愛情を注いで栽培した草花を多くの人たちに楽しんでもらえるよう努力してきました。また、喜多方駅前と喜多方市役所前にオブジェ制作を行い、通りかかった人たちの目を楽しませることもできたと思います。今年度は、卒業を祝うシネリアとパンジーを残すこととなりました。

次年度、地域に愛される草花を栽培していきたいと思っていますので、お買い上げくださればなお結構です。ご愛顧のほどよろしくお願いします。



(草花実習の様子)

### 農業クラブより

今年の農業クラブ活動は、夏季研修会や意見研究発表大会、技術競技大会に多くの生徒が出場しました。来年度は、今年度以上の入賞をめざし頑張りたいと思っています。

農業鑑定競技で入賞した産業技術科3年大竹祐太君の感想「進路のことが気になり、鑑定の勉強に集中できないまま県大会に行き、表彰式で私の名前が呼ばれ驚きました。」

家畜審査競技で入賞した産業技術科2年山口翼君の感想「大会出場に向け、地域の畜産農家に行き牛の見方を学び、大会に臨んだ。競技後、入賞は無理だと思っていたが入賞でき本当に嬉しかった。来年も是非出場したいと思っています。」



(校内研究発表会)